

## 執筆者紹介

劉 文兵 大阪大学言語文化研究科専任教員、本研究所客員研究員

### 〈編集後記〉

今月も、無事、695号をお届けすることができました。本号は1本の論文を掲載することとなりました。発行にかかわった皆様にはこの場を借りてお礼申し上げます。

劉論文は、日中映画交流の歴史を踏まえ、豊かになった中国市民に対して、日本映画が及ぼした影響について分析したものです。分析に用いている日本映画は、宮崎駿監督、是枝裕和監督、岩井俊二監督です。この論考では、小市民に注目し、市民意識の変容を分析しています。小市民とは、「集団的価値から離れ、個人の価値観に沿って行動し、生活する者」のことです。経済発展を遂げた中国では、人々の生存・生活の安定化がみられ、市民意識の多様化が進みました。このような社会において、日本映画が受容されていく姿を考察している本稿から、中国市民社会の実態を見ることができます。

多くの方が所員の研究成果をご高覧くださいることを期待しています。

(N. S.)

---

2021年5月20日発行

〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1番1号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

The Institute for Social Science, Senshu University, Tokyo/Kawasaki, Japan

(発行者) 大矢根 淳

製作 佐藤印刷株式会社

東京都渋谷区神宮前2-10-2 電話 (03)3404-2561

---